

平和の礎 刻銘板除幕式



市では市内にある忠魂碑の整理を行い、後世に戦争の悲惨さを伝えるため池下地先に「平和の礎」の整備を進めており、11月23日には刻銘板の除幕式を行いました。

7基ある刻銘板には、戦没者1656人、戦争犠牲者21人のお名前が刻まれており、ここを拠点に市民とともに市民平和運動を進めていきます。

※令和6年春頃には、芝生の植栽と沖縄県、長崎県、広島県から提供を受けて苗木の記念植樹を行い、6月末に完成を予定しています。

ベンチプレス大会で上位入賞



左から河村尚子さん、島田裕子さん

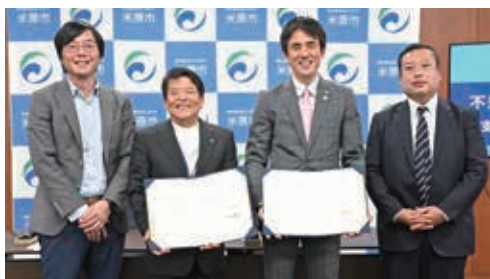
9月10日に行われた近畿ベンチプレス選手権大会で河村尚子選手が84kg級(40歳～49歳の部)で優勝、島田裕子選手が52kg級(60歳～69歳の部)で準優勝を果たしました。2人は11月16日に市長を訪れ、結果報告を行い、島田選手は来年大分県で開催される大会への意気込みを語りました。

特別全国障スポ大会で活躍



10月28日から30日まで鹿児島県で開催された特別全国障害者スポーツ大会で、大野勇選手が陸上競技の走り幅跳びで優勝し、100m走では準優勝しました。11月28日に表敬訪問をした大野さんは応援への感謝とともに「次の佐賀大会への出場を目指して、より一層精進したい」などと話しました。

滋賀弁護士会と支援協定締結



公正な行政サービスの提供と市の職員が安心して働くことができるよう不当要求行為等への体制強化として、11月28日に滋賀弁護士会と不当要求行為等対策の支援に関する協定を締結しました。

県内で初めてとなるこの協定により、専門の相談窓口の設置など弁護士との連携を強化し、市の組織的対応力の向上を図ります。

人権教育研究大会(米原大会)開催



毎年、県内で人権教育の発展を目指すために行われている県人権教育研究大会が今年は米原市で開催されました。「ともにつながり ともにつくる しあわせの“わ”～誰もが夢や志を抱ける世界に～」をテーマに11月3日、4日の2日間にわたり、米原市内の人権に関する取り組み発表や、記念講演、レポート報告などが行われ、のべ2118人が参加しました。

■広報誌「まいばら」

発行部数▶13600部 単価▶1部あたり42円(1円未満切り捨て、職員の人件費は含まれていません) 次回発行日▶1月25日(木)
広報まいばら音声版▶申し込み、問い合わせは米原市社会福祉協議会(☎54-3100)へ

■市公式SNS

各SNSアカウントはQRコードからご覧ください

